



公立大学法人

名古屋市立大学
Nagoya City University

名古屋市立大学
生物多様性研究センター

NCU Bio Diversity

NPO Goshawk
Protection
Fund



第119回 システム自然科学研究科セミナー
第39回 生物多様性研究センターセミナー

Effects of the Fukushima Daiichi nuclear accident
on goshawk reproduction

オオタカの繁殖生態と 原発事故の影響

日時:平成27年3月24日(火) 18時～

場所:名古屋市立大学 山の畑キャンパス 4号館大講義室

講師:遠藤孝一 氏(NPO法人オオタカ保護基金・代表)

村瀬香 氏(名古屋市立大学システム自然科学研究科・准教授)

アクセスマップ: <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>

学生や市民の皆さまもご自由にご参加下さい。(参加費:無料)

日本に生息するオオタカ(*Accipiter gentilis fujiyamae*)は、鳥類や哺乳類などを幅広く食べる猛禽類で、日本の森林生態系の頂点に立つ種の一つです。したがって、オオタカの生態を解明し保全するという事は、その生態系全体を保護する意味もあり、自然環境の保全を考える上で非常に重要です。そこで本発表では、北関東地域で行なわれた、22年間(1992年～2013年)の野外調査の結果から、オオタカの繁殖生態に迫ります。また、原発事故後に、これらの繁殖生態がどう変化したかについてもお話します。本発表が、人間と自然の共生をどのように実現していくのかという事を考えるきっかけになれば幸いです。

連絡先: 村瀬香 (名古屋市立大学システム自然科学研究科)

メール: kmurase@nsc.nagoya-cu.ac.jp

電話:(052)872-5089